

平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	環境分野の研究開発の推進		担当部局庁	研究開発局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～		担当課室	環境エネルギー課	環境エネルギー課長 田口 康			
会計区分	一般会計		施策名	X-3 環境分野の研究開発の重点的推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	新成長戦略(平成22年6月閣議決定)等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	環境分野の研究開発を効率的かつ円滑な推進を目指す。以下の取組を実施する。 ①地球科学技術に関する各国の研究成果、活動の情報交換を行い、文部科学省における環境分野の研究開発を効果的かつ円滑に推進する。 ②国際共同研究への分担金拠出等についての日本学術会議の勧告(平成2年第109回総会、平成11年第130回総会)を踏まえ、地球システムを制御する物理的、化学的、生物的相互作用の諸過程の研究を通じて地球システムの解明を図る国際協同研究計画を推進すること。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①環境分野の研究開発を効率的かつ円滑に推進するため、研究成果等の情報交換、他国との間で討議を行う国際会議への出席及び国内推進会議を実施する。更に、地球環境問題等に関する科学的知見の充実に資するため、地球環境科学技術を推進する観点から地球環境問題に関する国際会議に参加するほか、関係省庁や有識者による国内推進会議を開催する。 ②各国政府等からの拠出金により、地球圏・生物圏国際協同研究計画(IGBP)事務局が、各国の研究者の参加を得て、研究内容や国際協力の調整等を行いながら、国際協同研究計画を進めている。研究計画には、8つのコアプロジェクト(地球大気化学国際共同研究、全地球海洋フラックス合同研究、地球変化と陸域生態系合同研究、海洋・大気間物質相互作用、沿岸域における陸域-海域相互作用、土地利用・被覆変化研究、全球海洋生態系動態研究、古環境の変遷研究)があり、世界中の研究機関、関連研究者が連携を取りながら研究活動を行っている。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算				38.3	28.4	
		繰越し等				0		
		計				38.3	28.4	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	環境分野の研究開発を効果的かつ円滑に推進する(事業実施を支える事務費等であるため、定量的な成果目標を設定することは困難)	成果実績	—	—	—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	地球環境研究開発推進に関する国内推進会議の開催	活動実績	—	—	—	—	—	(8回)
		(当初見込み)	—	—	—	—	—	(12回)
単位当たりコスト	74(千円/回)		算出根拠	地球環境研究開発推進に関する国内推進会議の開催に関して。執行予定額/開催予定回数=592千円/8回				
	682(千円/回)			地球環境研究開発推進に関する国際会議への出席に関して。執行予定額/出席予定回数=8,187千円/12回				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	非常勤職員手当	0.8百万円	0.8百万円	地球環境行動会議開催費(23年度限り)の減				
	諸謝金	0.1百万円	0.1百万円					
	職員旅費	8.6百万円	5.4百万円					
	委員等旅費	0.1百万円	3.3百万円					
	庁費	20.2百万円	10.2百万円					
	地球圏・生物圏国際協同研究計画拠出金	8.5百万円	8.5百万円					
計	38.3百万円	28.4百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>環境分野の研究開発を推進する国際会議等への参加費用や拠出金、また会議や打合せ等に必要とする資料作成のための旅費・庁費・諸謝金・委員等旅費の事務経費として、財政法・会計法等に則り文部科学省において適切に執行支出している。環境分野の研究開発の着実な推進を図っていくために、有限な予算を最大限利用するとともに、効果的推進のため、引き続き、財政法、会計法等に則り経費の効果的・効率的執行に努める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	—	本事業は、執行面における課題もなく、事業の成果目標もたてられていることから、適切な事業と認められる。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	—		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
	—		

A. 文部科学省
38.3百万円

- ・ 非常勤職員手当 0.8百万円
 - ・ 諸謝金 0.1百万円
 - ・ 職員旅費 8.6百万円
 - ・ 委員等旅費 0.1百万円
 - ・ 庁費 20.2百万円
- を含む

地球環境問題等に関する研究開発の推進事務



【拠出金】

地球圏・生物圏国際協同研究
計画(IGBP)事務局
8.5百万円

地球圏・生物圏国際協同研究計画(IGBP)拠出を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
非常勤職員手当	技術参与	0.8			
諸謝金	国内推進会議出席謝金	0.1			
職員旅費	国内旅費、国際会議等出席旅費	8.6			
委員等旅費	国内推進会議等出席等	0.1			
庁費	会議開催費、消耗品等	20.2			
地球圏・生物圏国際協同研究計画拠出金	IGBP事務局への拠出	8.5			
計		38.3	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)